

# 町政を問う

今回の定例議会でも一般質問を行いました。質問内容は

- 一、農作業事故の安全対策について

主要な質問の要点のみをダイジェストでご報告します。

## ■相次ぐ農作業事故 農家の命を守る

### 安全対策を！

この秋に三芳町で2件の農作業事故が発生しました。お一人の方は尊い命を落とされました。(新聞記事参照)

農水省の発表によると、平成19年度に発生した農作業死亡事故件数は397件、この30年間、他産業での労災による死亡事故は、75%減少しています。しかし農業は毎年400件近い死亡事故があり微増傾向にあります。

労働者1000人当たり、年に何人が労災に遭遇したかを示す千人率は農業は13.5%で建設業の8.6%よりも高い。それだけ農

# ヒヤリ情報共有を

## 埼玉の安全対策など要望

埼玉の安全対策など要望  
町議会  
日本農業新聞では、「ストップ農作業事故」キャンペーンの中で新たな町議会の動きとして紹介 12月2日

農作業事故防止は行政が率先して啓発するべきだ。埼玉三芳町議会は1日、定例会で農作業は危険産業といえます。いわば農業労災は放置をされたままになっています。

身近に農作業事故があっただけに、また過去を振り返っても多くの身近な方が尊い命を落としているだけに、農作業安全対策について質問しました。

《質問》 事故発生後の町の対応は。

《答 産業振興課長》 現場に向いて状況を把握することはしていない。今回の事故では関係者に農水省の安全対策リーフレットの配布を行った。

《質問》 農業安全委員会の設立による安全対策は。

《答 産業振興課長》 農家組合、JA、農林振興センター等と

町内では9月上旬、73歳女性が手動トラクターに足を巻き込まれて2カ月以上入院。今も治療中だ。中旬には83歳男性が手動トラクターの後進中に転倒し、トラクターの下敷きとなり死亡した。「町による安全対策を推進したい」と訴えるのは、農作業事故対策を定例会の議題に挙げた林伊

《質問》 町内の農道、側溝等農作業中の危険区域の把握とマップの作成は。

《答 産業振興課長》 ヒヤリ・ハットの中から指摘があればまとめたい。

《質問》 高齢者の事故が多い。特別な講習、サポーター制度、より安全な機械への買い換え助成などは。

《答 産業振興課長》 検討したい。



トラクターなど機械による事故が多い

佐雄町議。自らもサツマイモなどの野菜4畝を栽培する農家だ。林町議は「事故防止に役立つヒヤリ・ハット情報を集め、農家に発信するべきだ」と強調。事故が起きやすい危険な場所の調査や高齢者への安全指導なども要望した。

町産業振興課は「情報収集は必要だ。危険区域や高齢者の指導にも生かしたい」と回答。鈴木町長は「町が事務局を担う農家グループや各種組織に、安全順守や労災加入を提案し、意識を啓発していく」と話した。

町内の耕地面積は519畝。大部分は平坦部で、トラクターなどの農機を使う農家は多い。畑に隣接する側溝にトラクターが落ち、農家が下敷きとなり死亡した事故も起きている。農家の年齢構成は、65歳以上の高齢者が全体の38%を占める。9月に起きた2件の事故も65歳以上だった。

## ◆解説

私の記憶では、地元の農家の方が、女性も含め過去4人亡くなっています。しかし、農作業中の事故は、ヒューマンエラーで本人の不注意、自己責任で安易に片づけられていたように思います。

労災予防研究所所長で農学博士の三廻部眞己(みくるべまさみ)先生は、その著書の中で

「地方自治体はなぜ農作業安全運動と取り組まないのだろうか。農業者の「命」を守る予算が議会で通らないはずはないと考えるのだが、いかがなものだろうか。他産業労働者の命の安全は法律で守られているのに、農業者の命が行政的に軽視されていることは納得できない」と述べています。

特に労災保険加入率は低く、現在三芳町では2世帯5人です。パート雇用の農家も増える中で農業経営におけるリスクマネジメントとしても関係者の対応が急がれます。農作業安全対策は、個人任せの安全対策よりも、行政、農業団体、関係機関等地域ぐるみで組織的に事故をなくしていく運動が必要であると考えます。

## ◎主な補正予算

専決第2号2724万9千円

補正第3号3億2810万2千円

歳入歳出123億1285万1千円となります。

①新型インフルエンザワクチン接種助成金

(国・県補助対象分)

・1816万7千円

(町単独補助分1才〜小6)

・797万円

②藤久保交差点物件補償料工事

・2592万円

③竹間沢第2学童保育室備品等

・143万2千円

④認可保育料委託料(桑の実)

・1827万3千円

⑤日本脳炎予防接種委託料

・1190万円

⑥学校備品机・椅子更新

・737万8千円

## ◎指定管理者決まる

三芳町総合運動場・三芳町総合体育館及び三芳町文化会館「コピス」の指定管理者が決まりました。団体の名称 東京ドーム・トルツリーグループ  
代表者 (株)ケイミックス  
指定の期間

## ◎臨時議会開催

12月18日第7回三芳町議会臨時

会が招集されました。6議案上程

され、全て全員賛成にて承認されました。

### 議案の主な内容

①国の補助事業である学校情報通信技術環境整備事業の補助金により左記購入の契約

・小中学校でデジタルテレビ

50型 142台、26型13台

・校務用コンピュータノートパソコン136台、

・教育用コンピュータ171台

納期は来年5月31日まで

②厳しい財政状況の中で町長、副町長、教育長が、それぞれ給料

を100分の10、100分の

7、100分の5減額する議案

ただし、平成23年1月13日まで

の限定的措置

◎三芳町の課室名が変わります

行政機構の簡素化、組織機能の強化及び住民サービスの向上を目的として行政組織が変わります。

平成22年4月1日からです。ここ数年毎年変わっていますが、総合窓口にてお尋ね下さい。